

楽しく参加させていたに違いない。

授業空間は、倉り造るものであり、それは、参加者全員にまわるものである。「授業とは何か」と改めて考えさせられました。
生徒が活発に授業に取り組んでいくのがEP意図のことです。

言語活動の活発化を促すためには、特別に、特別に、新年度新機会を促す
与之、夜更しと出さすと思、田中先生は、公明 研究 授
策 と い う 機 会 と さ か て に と り、生徒 に 生 ま た 場 と り 出 さ し た
よ に 感 じ ま す。 (た ら な 使 わ せ て も 行 か も)
研 究 協 議 も、た ら な 考 察 に な り ま し た。 ま た、お 会 い ま し ま し た。

中々と相手の目を見て話し、笑顔で受け答えをしてくる。
初対面の相手に対して、生かすにコミュニケーションをとっている。
質問もわかりやすく、考えききえている。

「どのような経験文にしたのか?」ex. その人の 人生、考え方、友友関係、起こ来、何に力点を置くのか」を質問するとよい。 起こ来。

意外な展開によって驚かされたが、思いつきに残り楽しい時間を過ごすことができた。
生徒たちも、まじめな態度でしかも構はしはもって質問してくるのだから、
生徒たちの発表は、個性にあふれている。興味深く感じられた。

生徒たちの文章の書きぶりには、安心して、素直に、自分の考えを書いてみるという
雰囲気と作ることも大切だと思えます。田中先生の明るさと、強引さ(?)に
生徒は、力を引き出させていくのだな、と思えました。